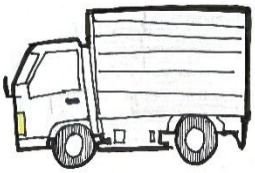
上演 13

長い時間のはじまり

北海道芸術高等学校
仙台サテライトキャンパス



楽屋に突撃インタビュー

●本番の感想＆雰囲気：
１人１人が楽しみながら良いマイペースで演技できて良かったと思います。緊張感からどんどんみんなが自然体になっていくのを感じました。

●思い出に残った台詞
「出た！ドイ！出た！」

●自分たちが選ぶMVP
ドイ

●頑張ったこと・難しかったこと・工夫点
台本の読み解きや認識の合わせ

●これからに向けて
１人１人台本への理解をより深めて演技を正確にしてきたいです。

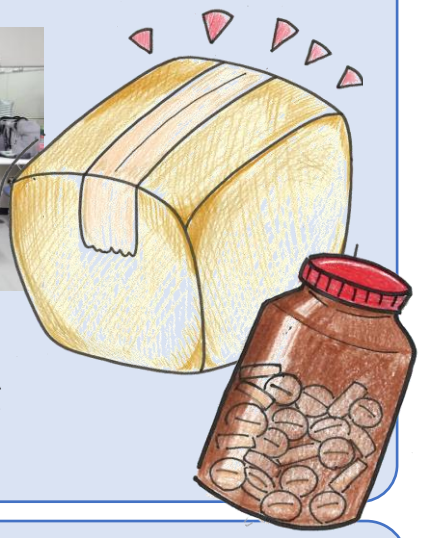
●役作りで意識したこと
細かい挙動（目線、座り方などなど）

●大会期間中に流行ったワード
やばし

お客様インタビュー

・箱から最初に出てくるところが印象的でした。
・「リーです」がとても可愛い。
・生きるのが難しいこの時代にあっていた。
・脚本のメッセージ性を感じた。
・研ぎ澄まされている。
・会ってないけどコミュニケーションしている様子が良かった。

●本番中のハプニングあった？
足がしびれた　セリフがとんだ
後ろで笑いそうになった



運営委員が観た！この劇の感想

何かから逃げてきた女性、少し痴呆の入った婦人と支える夫、優しくて繊細なドイ、個性的なキャラ達が断片的なストーリーを淡々と演じる劇。しかし、話が進むと徐々に分かってくる。生まれた瞬間から終わりが始まること、時の流れの儚さを生々しく感じた。一切小細工なし、他と一線を画す高い演技力。何度でも観たい王道の劇でした。担当者：佐藤（塩釜🐘）